

(平成 26 年 3 月 7 日 午前 10 時 50 分 再開)

●議長 (小林幸雄) それでは休憩前に続き、会議を開きます。

通告の 7、青柳秀吉議員。

1 行政の情報公開について

議席番号 10 番、青柳秀吉議員。

◆10 番 (青柳秀吉) 議席番号 10 番、青柳秀吉です。

先に通告してあります「行政の情報公開」ということで、特に病院のあり方…信越病院のあり方検討委員会について、質問いたします。

私がこの議員になるときには 2 つの目的がありまして、ひとつは特別養護…おらが庵の増床、それから、信越病院の経営の改善、あるいは建設の問題も含めますけれども。その 2 点が大きな理由でこの議会に出てきております。

それで、おらが庵については、増床になっております。それから、病院につきましても、ここ 2・3 年…2 年くらいかな、黒字を計上するまでになってきております。特に、当時は、経常収支比率についても 100 パーセントを割り、それから、医業収支比率も 100 パーセントを割り。人件費比率は 7 割を超える非常に高い人件費比率になっていました。それから、病床利用率は 80…70 から 80 パーセント位の高水準で、推移しておりますけれども。特に、医業収支比率にフォーカスを当ててやってきたんです。病院の方々の熱心な努力で、黒字の会計となってまいりました。そして、病院の建設については、あり方検討委員会が設置されてまいりました。それまでに約 4 年半かかっております。で、この病院の問題に関しては、特に、さっき申し上げました経常比率については、改善もなされ、接遇の問題とかについても、住民の方々の印象は「非常に良くなった」というふうに、改善の話を聞いております。で、この信越病院につきましても、地域住民の健康と命を支える信越病院は、この町にはなくてはならない施設であります。信越病院のあり方検討委員会が設置されて 10 月 1 日から施行されたのかな。昨年 10 月 1 日だと思いましたが、その間、今月で約半年は過ぎますね。毎月、恐らく検討委員会をやっていると思うんですけども、全く内容が見えてこない。検討委員会がそれで果たして良いのか。町民に係る…町民の健康と命に係る問題を討議している、検討する委員会が、果たしてそれで良いのか。で、病院建設の問題については、大体、ネットでみんな公開して、出してありますね。昨日、同僚議員の中に、千載一遇のチャンスの検討委員会…良くいえば、地域医療に対して、信濃町は取り組んでいるということが、今、町民にアピール、あるいはネットで全国にアピールするのは非常に良い機会だという話もありました。私もやっぱりそう思っています。それだけ、地域医療に関しては、この住民の方々、特にこの自然の環境、あるいは観光の関係、そういう問題も含めて、この病院の問題に取り組んでいかなければならない。というふうに、私は思っております。で、この住民にとって、非常に関心の深い医療という問題に関して、この検討委員会の内容が全く見えてこないというのは、どういうことかということを、非常に、私は不思議に思っています。で、何故この検討委員会が出来たかということ、病院を造るということも

そうなんですけれども、病院を造るのであれば、設計屋さんとコンサルタントと建設業の方々がいれば、それとあと、町内にプロジェクトチームか何か作れば、出来ることはできるんですけれども。検討委員会の中は、やっぱり、生の…この町にふさわしい病院はどうあるべきかという部分を検討するのであって、その大事なことが抜けているというのは、非常に残念でなりません。この検討委員会がどのように展開されているのか、簡単にポイントだけを質問いたします。

ひとつは…これは二つずつやりますかね。ひとつは検討委員会の情報公開及び傍聴に関して、町当局としてどのように考えているかが、まず1点。それから、委員会が月1回位やっているというふうに思うんです。それもわかりません。だから、開催回数は通告のほうは12月から2月になっていますけれども。10月から2月まできちっとやられていたのか。この2点について伺います。町長お願いします。

●議長(小林幸雄) 松木町長。

■町長(松木重博) それでは、青柳議員から「信越病院のあり方検討委員会の現状について」のお尋ねでございます。まず、冒頭に、以前より大変、病院に厳しいご指摘をいただいた議員から、病院職員に対して、ありがたい言葉をいただいたことに、まずもって御礼申し上げます。

おっしゃるとおり、大変病院の経営状況は厳しいものがあり、当時、この「あり方検討委員会」等で、今後の病院のことを考えていただくには、まだまだ先になるかなという思いで、病院の当事者の皆さんと話し合いをさせて来ていただいたところでございますけれども。議員ご指摘のとおり、病院の経営は非常にいい方向に向かってきており、議員ご指摘されたように、黒字になってきております。そういった意味では、喜ばしい限りですが。今議会の冒頭にもありましたように、会計基準が見直しされました。そのことによって、退職引当金等、そういったものも、これから会計基準の中に入ってきますので、また、いわゆる民間の決算書と同じような状況になるということからいくと、まだまだ厳しい、手の抜けない時が続くかとは思いますが。それにしても、以前の病院の状態とは、大きく様変わりをしてまいりました。そんな中で、ようやく病院の将来が見えて来るのではないかということで、昨年9月、議員の皆さまにご理解をいただく中「信越病院あり方検討委員会」をお認めいただきました。その後、私は第一回目の会合には参加させていただきました。その折には、集まった皆さんの中には病院に関して、非常に精通していらっしゃる方もいらっしゃれば、また、全然…こういっては失礼ですが、今までそういったことに関知してこなかったという方も大勢いらっしゃいました。ということでまず、レベル合わせをするということで、最初の3回、4回は、当初聞いた時は、確かこの3月までと聞いたような記憶があるんですが。非公開でまず、レベル合わせをしようということで、それぞれの精通した方が委員の皆さんの前に、いわゆる講師として、その知り得た知識を皆さんにお話しするというので、了承されたところまで、私も知っております。で、「信越病院あり方検討委員会」の審議内容は、確かに住民にとっての健康維持と今後の町づくりを左右すると思われるところから、大変関心あ

る重要な事項について検討していく委員会なので、本来は、最初からオープンな形で情報公開及び傍聴できるようにしていくのが理想と考えております。しかし、現在はただいま申し上げたことによりまして、委員の皆さん同士でそのレベル合わせに努力されている状況とっております。その辺の詳しい状況につきましては、事務長よりお答えさせていただきますと思います。

●議長（小林幸雄） 小川病院事務長。

■病院事務長（小川三冬） それでは、私のほうから「あり方検討委員会」の事務局としての考えを申し上げます。事務局としましては、今ほど町長が申しあげましたように、この「町立病院あり方検討委員会」は、住民の皆さんが大変関心ある、また、今後の町を左右するような重要な事項について、検討していく委員会とっておりますので、本来はオープンな形での情報公開及び傍聴できるようにしていくのが理想的と考えております。しかし、第 1 回の「あり方検討委員会」の中で、検討委員の皆さんの総意で、今後ずっとということではなく、しばらくの間、勉強段階ということで、公開しないでいくという結論を出されましたので。その委員の皆さまの考えを尊重していきたいというふうに思っております。そうは言っても、もうそろそろ検討委員会が立ち上がって、先ほど、青柳議員は 10 月と言いましたけど、11 月 1 日に設置され、そろそろ 4 ヶ月経ちましたので、出来るだけ早い時期に公開できるよう、事務局も委員皆さん共々努力してまいりたいと思っております。

それから、2 点目の「委員会の開催回数は」ということですが、昨年の 11 月 1 日に「あり方検討委員会」を設置して、第 1 回の会議を 11 月 13 日に開催しました。その後、毎月 1 回のペースで委員会を開催しており、既に 4 回開催しております。また、今後につきましては、今年度、最後となる 3 月の委員会を 3 月の 13 日に開催を予定しておりますので、当初の計画どおり、今年度合計 5 回の開催となります。委員の皆さんはとても熱心で出席率も良く、会議を夕方 4 時から病院の会議室で、通常 2 時間の予定で開催していますが、時には時間をオーバーすることもあります。それでも時間が足りない時などは、独自に別の日にグループごとの話合いの時間を取っているところもあります。

なお、情報公開の関係ですけれども、今現在、会議を公開しておりませんので、会議録等は載せてありませんけれども、町のホームページの方に「あり方検討委員会」について実際にどのような事をしたかにつきまして載せてございますので、また、ご覧いただきたいと思っております。

●議長（小林幸雄） 青柳議員。

◆10 番（青柳秀吉） 今、町長から「レベル合わせ」というような発言がありましたけれども。そのどういう内容をやっているのか、ちょっと教えてもらえませんか。ホームページもまだ見てないんですけどもね。議員の皆さんいますので、どういうことを検討しているのか、内容をちょっとお聞かせください。聞きたいということです。

●議長（小林幸雄） 小川病院事務長。

■病院事務長（小川三冬） 11 月に開催された第 1 回検討委員会では、まず、正副委員長を決め、町長から委員長へ諮問しました。また、今後の委員会のスケジュールについて決めていただき、今年度においては、町長からの「諮問事項の 1」であります「町立病院の現状に関することについて」検討していくことになりました。

続きまして、12 月に開催しました、第 2 回検討委員会におきましては、病院施設内見学をしていただきました。それと、現状の診療及び医療体制、また、経営の現状について、病院の職員の私の方から説明いたしました。また、将来人口の推計につきまして、事務局補佐としまして、総務課のまちづくり企画係長より説明し、それに対して、何人かの委員さんから質問やご意見が出された経過がございます。また、後日、事務局サイドでの打ち合わせの際に問題とされたことは、委員、それからオブザーバー、事務局を含めて 30 人近い人数の会議では、発言する人が特定されてしまい、全員参加とならない。また、現状の病院のあら探しだけになってしまって、建設的な意見も出ませんし、このままでは収拾がつかないということが問題とされました。そこで、今後の会の進め方を検討する必要があるということになりまして、次の 1 月に開催する第 3 回検討委員会で、現状の課題等の抽出をする際には、以前、長期振興計画の策定の際に取り入れしました文化人類学者の川喜多二郎さんが考案しました K J 法と言いまして、具体的には、カードにそれぞれの考えを記入して、模造紙に張り付けていきながら、最終的には、まとめてグループごとに発表していくという全員参加の手法ですけれども、その K J 法を取り入れて、出来るだけ大勢の意見を反映させていくということになりました。この K J 法によるグループ討議の方法は、初めての委員さんも多く、最初は戸惑う場面もありましたが、そのうちに皆さん、だんだん慣れてきて、最近では打ち解けた状況でのグループ討議となっております。このグループ討議ですけれども、全員参加という観点では、私も評価できると思っております。

続きまして、2 月に開催した第 4 回検討委員会では、引き続き、グループに分かれて現状の課題について、文章にまとめる作業をいたしました。

今後、今年度最後となる委員会も 3 月 13 日に予定していますが、そこでは、現状の課題についてグループごとの発表と合わせて、委員の中に病院経営に精通している方もいますので、その方を講師としまして、「信越病院の財政状況と全国統計との比較」と題する学習会をしていく予定です。

今、説明しましたように、今年度につきましては、「今後の病院のあり方」を検討していく前段階で、現在の病院の状況、具体的には建物の状況であったり、診療及び運営の状況であったり、財政の状況であったり、それらを知る上で、現状の課題をここでしっかり検討することが重要と考えております。

議員の皆さまや住民の方からすると「検討委員会はいつまで何をやっているのか、なぜ早く、今後の病院について検討していかないのか」と、歯がゆく思うかもしれませんが、ここでしっかり、現状の課題を委員全員で共有していくことが、4 月以降、今後の病院のあり方をひとつひとつ、この「あり方検討委員会」としての考え決めていく上で、



大事な作業であるということをご理解いただきたいというふうに思っております。

●議長（小林幸雄） 青柳議員。

◆10 番（青柳秀吉） 今聞く限り、何も非公開にする理由、何もないではないですか。これはやっぱり、公開して、町民の方々にお知らせする、やっぱり、僕は町としては、やっぱり義務があると思いますね。何も今、言われたことを非公開にする理由にはならないですよ。そういう傲慢なやり方は良くないなというふうに思いますね。で、今、開催された内容については 4 回分、ありましたけれども、その公開されていないという理由は、今の中にはないんですけれども、先ほど、町長の話の中にレベルを合わせるという問題を言っておりますけれども、どういうレベルを…何のレベルを合わせるのかちょっと教えてもらえませんか。レベルを合わせるということに関して。当事者でないといけないと思いますけれども。

●議長（小林幸雄） 小川病院事務長。

■病院事務長（小川三冬） それでは、傍聴が許可されない理由ということで。まず 11 月に開催しました第 1 回目の「あり方検討委員会」の際に、事務局であります私のほうから、「数名の方から、委員会を傍聴したいという希望がありました。つきましては、この回を公開にするかどうかお決めいただきたい」ということを申し上げましたところ、委員の中から「住民の意識を高めるといことになれば傍聴も良いのではないか」というご意見も出されました。しかし、公募委員の中から「公開には賛成だが、委員として勉強不足な点もあり、心配なので、もう少し勉強して、ある程度のレベルに達した段階で公開するよう考慮して欲しい」というご意見がございました。結論としましては、しばらくは、議論以前の勉強の段階として、非公開とし、機が熟した時点で公開していく方向で進めていくということになりました。このことは今ほど議員もおっしゃられたように、決して、委員会を非公開にして、秘密主義に会議を進めていこうという意図があるのではなく、あくまでも、委員の皆さま、特に公募委員の皆さまの正直な気持ちを大事にしたいという思いと、また、委員会での議論を充実したものにしたいという思いがありまして、しばらくの間、非公開とするものでございます。

●議長（小林幸雄） 青柳議員。

◆10 番（青柳秀吉） 今、事務長のほうからお話があったんですが。レベルを合わせるって言っても、私は先ほど申し上げたように、病院に関しての専門的な知識どうのこうのを求めて「あり方検討会」がある訳ではないというふうに思っています。本当に、身近な、これから先、病院は町民の為にどうあって欲しいとか、どうかかっていったらいいのか、どこをどう直してもらったらいいのか、ということで、そういう問題で検討委員会があるというふうに思っています。その病院の建設、あるいは病院の経営内容について、私

は決して求めてはいないと思いますね、町民は。私も 36 年間この医療業界にいます…いました。それで 7 つ会社を変わりましたけれども。私もわかりません。はっきり言って。そんなレベルが上に行くことは、必要ないと思っています。本当に、何ていうのかな、かかり易い、良い病院とはどう何だろう、みんな…アンケートの問題もあるんだろうと思いますけれども。そういう理由で傍聴、あるいは非公開になっているということは、少し考えていただきたいなというふうに思っています。

とにかく患者さん、あるいは住民の方の現実的な意見が最も、僕は大事にしていくのが良いのではないかなというふうに思っています。レベルを合わせるとか合わせないとかの問題ではないと。この辺が少し、ちょっと高圧的な感じがしますね。これはやっぱり、直してもらいたいと思います。

それから、さっき言った傍聴の許可がされていないことというのは、そういうレベルを合わせるといこと。この傍聴と公開をするのはいつからやっていただけるのでしょうか。

●議長（小林幸雄） 小川病院事務長。

■病院事務長（小川三冬） 先ほどの答弁の中で、レベルの話をしなかったもので、ちょっと補足させていただきますけれども。第 1 回の会議で、やはり「あり方検討委員」の委員さんの中で、病院の運営委員をされている方が数名入っておりますが、その委員さんの中から、できるだけ病院の運営委員のレベルに皆さんも勉強して合わせていただきたいと、そういう話もありましたので、そういうことがあった経過の中で、特に公募の委員さん等につきましては、色々な心配があったのではないかとというふうに私も思っております。

それから、今ほど「傍聴はいつから可能か」というお話がありましたけれども、事務局といたしましても、委員会の公開を待ち望んでいる住民の方も多いので、出来るだけ早く公開して、傍聴できるようにしたいと思っております。つい先日も「あり方検討委員会」の委員長、副委員長とも委員会の公開時期について相談させていただきましたが、当初の計画どおり、この 3 月の委員会をもって、諮問にもありました「調査検討事項 1」の「町立病院の現状に関することについて」ある程度の学習段階は終わりかと思っております。4 月以降も随時学習はしていく訳ですけれども、この 4 月の委員会から公開し、傍聴できるようにしても良いか、この 3 月 13 日の委員会でお諮りする予定です。先日も「もっと早く公開していくよう事務局が誘導すべきだ」という住民の方からご意見がございましたが、この「あり方検討委員会」では、会議の進行や進め方の説明、それから、資料の作成や講師につきましても、委員自らが務めるなど、大変自主的に行動していく委員会となっております。以前の議会の委員会審査の中で、ある議員さんから「往々にして、行政の開催する委員会等は行政側の意図が大きく、結論ありき。その結論の方向に事務局が誘導していく傾向にあるので、極力、今回のあり方検討委員会では、事務局が公平性を保って誘導しないように。」というご意見がございました。ですから、この委員会の公開についても、まだ機が熟していない段階で、委員長なり事務局が誘導して会議を公開

することによって、今後、委員会の議論がスムーズに行かないことがないよう、委員の皆さまの総意で決めていただくというのが、この「あり方検討委員会」の委員長の考えでございます。また、今回の「あり方検討委員会」は、あくまでも結論ありきの委員会ではありませんので、事務局としまして、委員の皆さまに白紙の状態から検討していただくよう、現状をありのまま見ていただき、資料提供、それから説明や分析に至るまで公平性に欠くことのないように努めております。また、委員会が公開になっても委員の皆さまが今後、委縮することなく、みんなが意見を出し合い、地域の代表としてのより良い判断をしていただくような環境づくりに努めてまいりたいというふうに思っております。その辺、議員の皆さまにもどうぞ、ご理解のほど、よろしく願いいたします。

●議長（小林幸雄） 青柳議員。

◆10 番（青柳秀吉） 今のお話ですと、3 月 13 日に委員会が開催されて、その中で決まるということなんですけれども。この「あり方検討委員会」が、この議会の中で、公開/非公開になっているとか、傍聴できないとかいう、こういう話が出ること自体が、僕はおかしいと思うんですよ、進める上で。みんなさらけ出してやって、わからないこと、わかっていること、みんなさらけ出してやれば良いんですよ。それが、僕はこの「病院のあり方検討委員会」といいますかね、この病院のことに、大事なことだと思います。で、3 月 13 日に「傍聴、いつからさせる」ということも決められるというんですけれども、早急にやった方が、僕は良いと思います。だって、もう批判がいっぱい出ているんですから。それを良く委員会の中でも話してもらったら良いと思いますよ。そうしないと、何か情けないような感じが私はしますね。とにかく、今日聞いたかったのは公開/非公開というのを、公開を早くするというので、3 月 13 日の結果を楽しみにしているんですけどもね、ぜひ、4 月からはちゃんと公開して、傍聴も許可してもらって、みんなやっていくと、これは。そういうふうにしていただきたいというふうに思っています。で、今も城西大学の伊関先生かな、今、城西大学にいるのかちょっとわかりませんが、こういうことを言っているんですね。「住民は地域医療に関しては、お客さんではない。」と。当事者なんですよ。みんな当事者、住民の方は。当事者がそういうことを感じ取っているんですね。それをきちっと捉えて、敏感に捉えてやるべきだと思いますね。それと、その地域医療の再生とか、地域医療をどうやっていくかということについても、住民の代表である、地方の議会議員の役割は非常に大きいというふうに言われています。議員も地域医療を守る当事者であると意識して活動を行うようにするのが、いい地域医療を立ち上げると言いますか、やっていく上においては大事なことだと。住民もそうだし、議会もそうだし、行政もそうだし、みんな全員でやっていくんだというふうに伊関先生は言われております。それで、私も、とにかく全町を挙げて、町の病院を無くさないために、また、この地域医療を次世代に繋げるためにも、それから、若者たちが定住して、この病院がきちっとある町にしていかなければならないと思っています。で、みんなが協力してやっていくんですけれども。とにかく、1 日でも早く「あり方検討委員会」の検討内容の公開をしてもらいたいということ。それと、町民の方々

が傍聴出来るように、きちっと決めて、早めに進めていってもらいたいという、この 2 点を強くお願いして、私の質問を終わります。

もう一度聞きますけれども、それはお願いしますね。それちょっと答えてもらいますか。公開の件と傍聴。もう一度。

●議長（小林幸雄） 小川病院事務長。

■病院事務長（小川三冬） 実は、昨日も委員長とこの件について話しました。それで、傍聴・公開ができるようになるからには、それをまた、皆さんに情報をお知らせしなくてはいけないということで、いついつから公開できますと。傍聴の日程等についてもお知らせしなければならぬので、その準備を進めたいというお話をしましたところ、いずれにしろ、3 月 13 日の委員会にかけて、その中で委員の皆さんでご決定いただいた上で、結論を出したいということでしたので、13 日、ちょっと楽しみに待っていただきたいと思います。

●議長（小林幸雄） 青柳議員。

◆10 番（青柳秀吉） また、非公開みたいだったら、こういう検討委員会なんて解散した方が良いでしょう。はっきり言って。以上終わります。

●議長（小林幸雄） 関連質問のある方。9 番、森山議員。

◆9 番（森山木の実） 議席番号 9 番、森山木の実です。「病院のあり方検討委員会」に関して、関連質問いたします。

話を聞いていて、「一般公募の委員に求められているものは何か」が、最初からはっきりされていなかったのではないかと思うので、そこのところまず 1 点。それとレベル合わせという、非常にあいまいな基準を設けているらしいんですが。まず、一般公募の人はレベルが低いと。その「低い」という認識が、もしかして、そういう傲慢な認識があって、それで「自分たちのところまで、上がって来い」と。そういう何かプレッシャーを一般公募の方たちが感じてしまったのではないか。私は一般公募の人たちは、患者として、または、家族が信越病院にお世話になったりそういうことで、色々な知識があると思うんですよ。だからレベルというのが、どういうものがレベルなのか、最初に委員会の目的が共有されていなかったのではないか。病院の建物というハードな部分を扱うのか、それとも信濃町の医療の一環として、どんな病院にしていって良いかを話し合うのかが、ちゃんとしてなかったのではないか。ハードな部分、それから、運営の部分だとしたら、一般公募の人は知らないですよ、そんなことはね。そういうことでレベル合わせをしていくようだったら、私、この委員会はちょっと、困ったなと思いますし、もし、レベルが同じにならなかった場合は、ずっと傍聴禁止になる訳ですよ。これはどうでしょうかね。だから、最初にお聞きした、一般公募の人に何を求められてい



るのか。一般公募の人は、レベルが低いという認識か。最初の委員会の目的が共有できていなかったのではないか。レベルが同じだと「あ、やっと皆さんとレベルが同じになった」と一般公募の方がお思いにならない限り、ずっと傍聴禁止の可能性はあるか。4 点お願いします。

●議長（小林幸雄） 小川病院事務長。

■病院事務長（小川三冬） 一般公募した時点で、公募の条件としましてはまず、住民を代表する方ということで公募しております。ですから、信濃町に住所を有する方の中から、病院問題について興味のある方ということでお願いしてございます。

それから、このレベル合わせにつきましては、事務局の方からそういうことを申し上げたことではなくて、委員の中からそういう話が出てきました関係上、これにつきましては、私どもも常日頃言っていることは、わからないことがあっても当然なので、今後、4 月以降もどんどん学習会も入れていきますし、それぞれの委員さんの中からこれから具体的な質問がたくさん出てきます。その都度、こちらの事務局、また、総務課サイドでも情報を提供していきますので、特に恥ずかしがることなく、質問していただければと、そういう話は常にしております。なお、先ほども言いましたようにグループ討議をしている中で、そういう公募の委員さんにつきましても自分の意見を言いやすい状況にしておりますので、今後につきましては、そんなに遠からず公開できるようになるというふうに思っています。

それから、議員さんの先ほどおっしゃられた「早く公開して欲しい」という話、それから「住民の皆さまからも要望がある」ということは、常日頃、私も委員会の中で申し上げておりますので、その辺は委員の皆さまもわかっておりますので、早い時期に公開できるというふうに私も思っております。

あと他にどんな話でしたでしょうか。すみません。

●議長（小林幸雄） 森山議員。

◆9 番（森山木の実） 私、一般公募の委員の方たちの感性と体験とに非常に期待しているんです。で、「信濃町の医療がどうあるべきか」というのは、本当は一般公募の人たちの意見が一番大事なんではないかと思う位なんです。一般公募の委員の方に「今この委員会はどうなっているの。」と言うと、「非公開だから教えられない」と言うんですよ。で、「じゃあ、これじゃ、町民のためのあり方を考えているのか。それから今後、どうやって、町民の声を拾っていくのか。アンケートだけじゃなくて。」というのを聞いても、「非公開なので」で済まされてしまうと、もうどうしようもないので、そこのところもなんとか公開していけるように、レベルという話をちょっと、事務局としても何かこう、そういうものではなくてとか、何か言いながらできませんかしらね。

●議長（小林幸雄） 小川病院事務長。

■病院事務長（小川三冬） 今まで4回の会議の中で、実際に決まったことは特にないので、そういうふうには委員さんもおっしゃられたのかもしれませんが。委員会を今まで4回やってくる中で、本当に初めての方もいますので、スムーズに行かない会もございました。先ほどのKJ法につきましても、初めての方もいますので。そんな中できつと、委員さんとしては今の状況を説明しづらいという部分があつて、森山議員さんにはそのような言い方をしたのかもしれませんが。特に、秘密にしておくというところは一切ございません。非公開ということは、そういう意味ではないので。先ほども言いましたように、ホームページの中にもどんなことをしたという程度は、サラッとですけども今現在もアップしておりますが、会議録が公開されていないということだけですので。それから、議員の皆さんが心配するほど特に秘密主義に委員会を進めているということはありませんので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

●議長（小林幸雄） 森山議員。

◆9番（森山木の実） では、委員会の中で、非公開とはどういうことをきつちり、みんなでコンセンサスを取つていただきたいと思ひます。そして、最後の最後まで、ずっと非公開にならないように期待いたしまして、関連質問を終わります。

●議長（小林幸雄） 以上で、青柳秀吉議員の一般質問を終わります。  
この際申し上げます。昼食のため午後1時まで休憩といたします。

(午前 11 時 32 分)